

読書の葉

花を摘むように
物語を摘みに行こう

No. **154**

田園調布学園
中等部・高等部
図書委員会

m o k u j i



- | | | |
|-----|--------|---------|
| # 1 | カフェ×本 | p3~p5 |
| # 2 | 曲×物語 | p6~p7 |
| # 3 | 複眼書評 | p8 |
| # 4 | 声×本 | p9 |
| # 5 | 花言葉×物語 | p10~p11 |
| # 6 | 美術館×本 | p12~p13 |

d o k u s y o
n o
s i o r i

- | | | |
|------|--------------|---------|
| # 7 | 植物×本 | p14~p15 |
| # 8 | 写真部×memory | p16~p17 |
| # 9 | 物語×聖地 | p18~p19 |
| # 10 | 文豪×アニメ (文スト) | p20~p21 |
| # 11 | わたし×物語 | p22 |
| # 12 | 宇宙×本 | p23 |
| # 13 | 編集後記 | p24 |



カフェ×本

本本の図書室
— MORI NO TOSYO SHITSU —

に行ってきました



今回、私たち「読書の葉」取材班は、ブックカフェ「森の図書室」に行ってきました。田園調布からも近い渋谷にあるブックカフェの魅力をお伝えします。

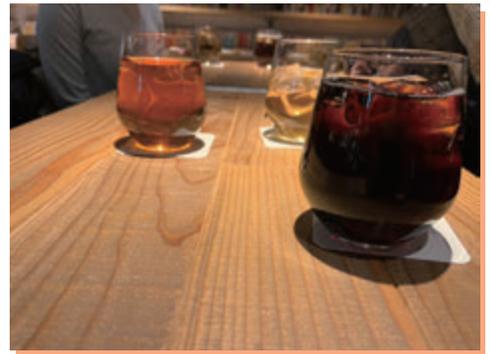
どんなところ？

「気軽に使える図書室を作りたい。」そんな想いから二〇一四年、渋谷の道玄坂にオープンした「森の図書室」。二〇二二年に渋谷駅付近に移転し、駅の改札口から行きやすい場所にあります。



渋谷のハチ公

ここでは、普通の図書館や図書室と違い、飲食もおしゃべりも可能です。メニューは、本にでてる食べ物をイメージしています。



店の雰囲気

沢山の本に囲まれ、本好きにはとてもぜいたくな空間。漫画や小説、随筆、ビジネス書など幅広いジャンルがあります。自分が手にとったことがある本に必ず出会える。それほど本の種類が多いのです。流れている音楽も素敵で隠れ家的な感じが満足でした。



私たちは、今回土曜の昼ごろに行ってきました。渋谷にあるというだけで騒がしいかと思いましたが、お店がビルの八階にあるので大都会とは思えない静けさ。客層は大学生から社会人の男女と様々でしたが、二十代〜三十代の女性が多い印象でした。お昼前は混んでいませんでしたが、昼時になるとほぼ満席になっていました。もし大人数で行くなら予約を取って行くのがおすすめです！

料理

「ラピュタトースト」

『天空の城ラピュタ』でパズーとシータと一緒に食べていたラピュタトースト。中はふわ、外はカリ、の美味しいトーストに半熟目玉焼きのトッピング。

胡椒がきいていて何度も食べられそうな飽きない味でした。ポテトチップスもおいしいです。



ghibli.jp/works/laputa/ (2024.2.8)

「ホットチーズサンド」

『セイフヘイヴン』のホットチーズサンド。外はサクサクのパンで中はとろとろのチーズが入っていて美味でした。次来た時にも食べたい。



『セイフヘイヴン』ニコラス・スパークス、SBクリエイティブ

「チョココレートケーキ」

『魔女の宅急便』に出てくるお婆さんが作ったチョココレートケーキ。温かく、しっとりしたガトーショコラにはナッツが入っていて、味はもちろん食感まで楽しむことができます。



『魔女の宅急便』角野栄子、福音館書店

「カステラ」

誰もが知っているであろう絵本『ぐりとぐら』。ぐりとぐらが作ったカステラ。生地はふわつとしており、上には砂糖とちみつがかけられています。カステラとの相性は最高です。



『ぐりとぐら』なかがりえこ・おおむらゆりこ 福音館書店



『西の魔女が死んだ』梨木香歩、新潮社



「パパの好きなキッシュ」
 『西の魔女が死んだ』に出てくる
 おばあちゃんが作ったキッシュ。
 中の野菜がとてもシャキシャキし
 ています。卵の塩気とパイ生地
 の甘さがベストマッチ。また食べた
 くなるおいしさでした。

本との出会いがある

(1) 誰かのおすすめの本が
 そこにある

来店したお客さんのおすすめの
 本だけをおいたブックコーナーが
 あります。

(2) 本好きな★「図書委員」

好きな本について語り合える図
 書委員（従業員）の方々。
 話しかけたら、自分に合った本
 や、求めていた本を紹介していた
 だけるかもしれません。



(3) 本の感想をシェアする

掲示板

カウンター側にある掲示板は、
 カウンター側になった言葉など
 本の感想や好きになった言葉など
 他の人に知らせたい何かを書くこ
 ころ。

(4) コースターのひみつ

ドリンクを頼むとついてくる
 コースターは、持ち帰り自由。コー
 スターには、表に本のタイトルと
 図書委員長（店長）のコメント、
 裏には本に関するイラストが手描
 き風のやわらかいタッチで描かれ
 ています。コースターは一枚ずつ
 違うため、行けば行くほどたまり、
 読む本の幅が広がっていきます。
 私たちももらいました！



最後になりましたが、今回
 取材させて頂いた「森の図書
 室」のみなさん、ありがとう
 ございました。
 渋谷駅から近いのでぜひ
 行ってみてください！

今回訪問した場所

森の図書室

アクセス

〒150-0042

東京都渋谷区宇田川町23-3

(渋谷駅から徒歩一分)

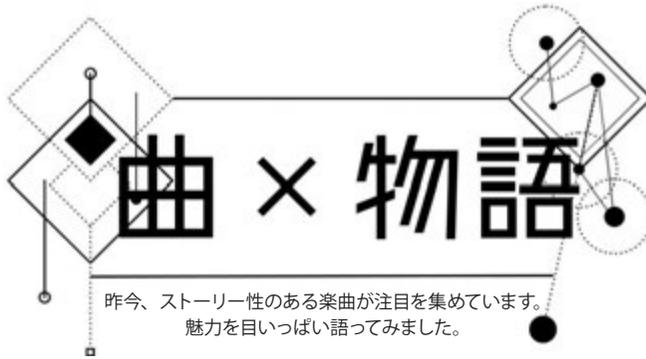
HP

<https://morinosyoshisu.com/>



高1
 中3
 中2

曲×物語



昨今、ストーリー性のある楽曲が注目を集めています。
魅力を目いっぱい語ってみました。

曲が織りなす物語

「幻影」(はるまきこはん)

儂げで美しいボーカロイド曲を作るアーティスト、はるまきこはん。彼はいくつかの曲を通して一つの物語を表現することを得意としており、その物語シリーズの一つが「幻影」である。

「幻影」は、内気な主人公みかけと彼女の友達三人を描いた物語だ。クラスで友達が少ないみかけは、毎朝スピカという少女に話しかけられ、次第に彼女と仲良くなりたいたいと願うようになる。しかし不器用がゆえにすれ違い、更に時間は中学生から高校生へと移り変わり、みかけたちはばらばらになってしまふ。彼女たちの友情の結末は……。

現在 YouTube にあがっている曲は、「第三の心臓」「蛍はいなかった」「幻影」「みかけ日記」の四つ。しかしこの順番は動画の投稿順であり、作成された時系列ではない。実は一番最初に投稿された「第三の心臓」は、のちの三曲に対して大きな伏線となる曲である。視聴者は先に発表された数曲の後に「第

三の心臓」を聴いて、はじめて物語の根幹に気づくことができる。後から物語の流れがはっきり分かるようになっていくところに、YouTube による楽曲発表特有の面白さがある。

曲の歌詞は、みかけ目線で語られる。学生・学校・思春期をテーマとする巧みな文学的表現が特徴だ。「第三の心臓」の冒頭から、一つ例を挙げてみよう。

A と B に分けられている選択肢だって 右手を歩くあなたの顔色次第かもね

この歌詞の他にも、同楽曲には思春期ならではの対人関係の難しさや、自己理解に関する悩みが詩的な表現で描かれる。仲良くしたいがゆえに、時に膨らみすぎた感情を抱いてしまうこと。自分が何なのかわからなくなっていくこと。私たちは今まさに学生なのだが、この時期特有の心の揺れが呼び覚まされることだろう。

ちなみに「幻影」のアルバムには、元々の四曲に加えてさらに四曲が追加され物語を補完している。特典でオリジナルコミックも付いており、物語の真相は最後に分かる

仕組みになっている。作者の真髓を知りたければ、ぜひアルバムを買うことをお勧めする。

(高2)



曲から物語へ、物語から曲へ

「六兆年と一夜物語」

(KEMU VOXX)

疾走感あふれるサウンドと思わず口ずさみたくなるような軽快な歌詞が特徴。現在は堀江晶太名義で活動しているアーティスト、KEMU を中心とするユニットが KEMU VOXX だ。彼らが手掛けた楽曲で、ノベライズ化された「六兆年と一夜物語」小説版を紹介する。

この本は忌み子と呼ばれ日々虐げられる主人公リクが、少女アイと出会う物語である。二人の世界にはどんな願いも叶えられる装置が存在している。そして装置にはめ込まれた「カミサマ」が、リクの願いを叶えてあげようと話を持ちかけてくるのだが……。

曲から小説になったことで、内

容はより充実した。まず曲中では明かされなかった登場人物の名前や真実が多く記載された。これにより曲から知った人はもちろん、小説から曲を知った人も楽しめるようになった。

話は戻るが、あなたの願いをなんでも叶えてくれる装置があったとしたらどうするか。「願い」とは、「欲望」を美化して言い換えた言葉だと私は思う。欲望にまみれている大人をリクは非難する。しかし、最終的にはリク自身の欲望により、アイと自分以外の人間がいらない世界を作り上げてしまうのだ。

「皆いなくなれば いいのにな」という直接的過ぎる歌詞。これこそリクの本心だろう。私は、人間の欲望が心の動きや行動の根源にあると考えている。それは、自分のため、他者のためなど関係なく発生する。私たちの欲望がどれほど根深いものか、この小説を読んだと感じてほしい。

また「六兆年と一夜物語」は、原作者が制作した他の楽曲ともつながっている。特に「カミサマネジマキ」と「地球最後の告白を」は、つながりが分かりやすい部分が多い。

い。どちらもYouTubeにあがっており、手軽に聴くことができるのでぜひ聴いてみてほしい。

(中1)

曲と本をともに

「ユーレイ」(辻村深月) 「ヒカリノタネ」(森絵都)

YOASOBI

「アイドル」や「夜に駆ける」などで有名なYOASOBIは、ほとんどの曲を一曲一冊、本をもとに作っている。その中でも直木賞作家とコラボした曲が四曲あり、曲の元となった小説がつまんでいる短編集が『はじめての』という本。今回は、辻村深月と森絵都の二作品を紹介しよう。

「ユーレイ」——辻村深月——

〈はじめて家出したときに読む物語〉

「昼間の光を見るのは、おそろしく、これが最後になるだろうから。」
もう生きるの辛い……そんなとき「私」は、妙に惹かれた海沿いのある駅に降りた。花束が手向けられた夜の海の近くで、謎

にあふれた女の子からいきなり声をかけられる。

私は、曲を聞いてから本を読んだため曲の歌詞から考察した結果と読後の結末とを比べる楽しみができた。曲と本がタイアップしていることは、他の作品ではできないYOASOBIならではの深みがあるところだ。また、風景描写が美しく書かれており、本を読んだあとに曲のMV(ミュージックビデオ)を見てみると、より作品の中に自分が入っていくような感覚になる。

「ヒカリノタネ」——森絵都——

〈はじめて告白したときに読む物語〉

「私、やっぱり椎太が好きだ。」
主人公の由舞は、幼馴染の椎太が好きでたまらないあまりに、三回も告白してしまった。そして今回四回目の告白を試みるが……。
この作品は、青春ありきの学生の甘酸っぱい恋物語が土台になっているが、ときにコメディも兼ね備えているので思わずふつと笑ってしまう場面もあった。あなたは取り返しのつかないことをしたあと、それを帳消しにしたいと

思ったことがきつと一度はあるのではないだろうか。ファンタジーと現実が混ざっているような新感覚が見どころだ。

私はこの四冊を読んだあと、再度YOASOBIの曲を聞きたくなった。実際にまた聞くと、本を読む前には思いもよらなかった伏線に気づき、はじめとはまた違った気持ちで曲を聴くことができた。このように曲と本を複合的に楽しめることがYOASOBIの魅力だと考

える。
今回紹介した二冊以外にもYOASOBIの曲×本は多くあるのでぜひ手に取ってみてほしい。

(中1)



「禍」という字は、災いを意味する。「文字の精霊」に囚われたアシュル・パニ・アパル大王は、老博士に「文字の精霊」について研究するよう命じた。老博士は一字をじつと見つめてみるが、いつしかその文字が解体して意味の無い一つ一つの線の交錯としか見えなくなってくる。現代で言うゲシュタルト崩壊のことだが、老博士は「文字の精霊」の存在を認めた。

文字は我々の生活には欠かすことができない。文字によって人類は歴史を残し、言葉を通して集団を作り、文明が形成されていった。しかし、アッシリヤ人にとつての文字とは、どういう存在であったのか。作中、文字を知ったことで、急に蟲を捕るのが下手になった者、眼に埃が余計に入るようになった者、空の色が以前ほど碧く見えなくなったという者が続々と出てくる。本文では「文字の精霊」と表しているが、人々が被った数々の災難は、文字を知ってしまったことによる弊害を表している。長い歴史全体で見たら、実は人々は文字によって少なからず損害を出してしまっているのではないか。

老博士の言葉の中で、『文字の精霊が、一度ある事柄を捉えて、これを己の姿で現すとすると、その事柄はもはや、不滅の生命を得るのじゃ。反対に、文字の精の力ある手に触れなかったものは、いかなるものも、その存在を失わねばならぬ。太古以来のアヌ・エンリルの書に書き上げられていない星は、なにゆえに存在せぬか？ それは、彼等がアヌ・エンリルの書に文字として載せられなかったからじゃ。』という印象的な部分がある。文字で記すことによつて我々が知ることができたものは計り知れないが、それと同時に、世界にはどこにも記されていない、莫大すぎるほどの事象が存在する。文字で残されているものだけが真実ではない。

古代アッシリヤを舞台として、文字の発達による文明の功罪を導き出す展開が面白かった。文字という記号が事物を規定してきた事実は残酷だが、改めて文字とはなにかについて考えてみる機会になった。(高2)



複眼書評



中島 敦『文字禍』

文字を見つめていて、ふと頭がくらりとしたことはあるだろうか。意味を成しているはずの「文字」が、何か別のものしか見えなくなつたことは？ きつと一度は身に覚えがあるはずだ。この物語は、そのような事象をドラマチックに描き出し、突き詰めたものだ。

「文字」は、単なる記号か否か。それがこの物語のテーマになつていく。文字には「文字の精霊」なるものが宿つており、それが市井の人々に様々な悪い影響をもたらしているという仮定のもと、この話は進む。しかし、単なる記号ならば、文字に魂を見出すだろうか。また、「文字」に記された歴史こそが本当の歴史「なのだ」という思想も登場する。おそらく賛否

両論ある考え方が、少なくともこのアイデアが出るということは、文字に歴史が見出されているということだろう。古代人のスピリチュアルな着想に基づいたものだと

われればそれまでだ。だがしかし、本当にそうなのだろうか。作中、「文字は魂であり歴史である」と示される。文字は記号よりもはるかに大きな存在であり、人間にとつて利便性と危うさを秘めた「生き物」なのだ。この物語はそのことを知らせ、文字を読み書きする人々に対して警鐘を鳴らしているのではないか。

現代社会において、「文字」は古代アッシリヤ以上に、生活に溢れている。書物や広告だけではない。今はインターネットがある。電脳空間に飛び交うことばによつて、私たちは古代の人々以上に、不特定多数に対して文字を発することができるようになっている。私たちが発する文字は、連なり大勢の人々に読まれる。そして書き手と読み手、それぞれの文字の使い方や解釈一つによつて、行き違いが起り時には大問題が発生する。そんな危うい世界を、私たちは今生きているのだ。

明日の私たちが「文字禍」を起こすかもしれない。(高2)

声×本

『ナガサキの郵便配達』

朗読会に参加しました



◇『ナガサキの郵便配達』とは

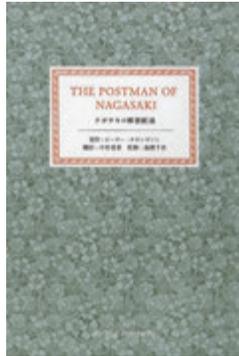
みなさんは、『ナガサキの郵便配達』という本を知っていますか？

これは、郵便配達中に被爆し背中に大火傷を負った谷口稜^{すゑてる}さん（二〇一七年逝去）の体験をもとに書かれたドキュメンタリーです。作家はピーター・タウンゼントさん。彼は、元イギリス空軍大佐でマーガレット王女との世紀の悲恋を描いた映画『ローマの休日』のモデルとなった方でもあります。

彼は初めて長崎を訪れた際に被爆者に出会い、あまりに衝撃的な話を聞いたことがきっかけで、本作を書こうと思い立ちます。そこで本格的に調査を始め、被爆者の一人である稜さんと出会い、他の方々からの貴重な証言も合わせてこの作品ができました。

『ナガサキの郵便配達』はその後絶版となってしまいましたが、齋藤芳弘さんによって二〇一八年に再

版されています。二〇二一年には川瀬美香監督による映画も公開されました。



『ナガサキの郵便配達』スーパーエディション

◇朗読会

二〇二三年一月二三日。この朗読会が東京で行われるのは三回目。本校が参加し始めたのは去年からで、今年は四人の生徒が朗読しました。今回は二部構成。前半は映画「長崎の郵便配達」の鑑賞、後半は朗読会。クラシックギターリストである佐藤洋平氏による作曲の「ナガサキ組曲」に合わせ、ピアノとギターの演奏と共に語りました。

開催した場所は半地下にあるブックカフェ。（エスパス・ビブリオ）。多くの雑貨や本に囲まれ雰囲気がありました。客層は三十代以上が多い印象で、四〇人余りが聞き入りました。（高1）

聞いた人

一人ひとりの個性が出ており情景を想起させる読み方で良かった。聞きながら、戦時中は憎しみが人々を支配していたのかもしれないと感じた。演奏者の技術やその曲調からも平和の尊さが伝わり感動した。（高1）

朗読した人

映画を見た後、朗読したためより深く作品を理解できた。緊張したが、お客さんが真剣に聞いてくれるのがわかり、心を落ちつけることができた。戦争の愚かさが伝わるように気を配った。（高1）



花言葉×物語

花言葉

物語



あなたはどの花を
誰に
贈りたいですか？

物語は生活の中に潜んでいます。
花のような身近なものにでも。

美しく、時には悲しい物語。

I 勿忘草

「私を忘れないで」

中世の頃、ドナウ川のほとりを、若い騎士と恋人が月の光を浴びながら歩いていた。

すると恋人が美しい花を見つけました。騎士は彼女のために川のほとりに降りて花を摘もうとしましたが、その途端、足を滑らせ激流にのみこまれてしまいました。

騎士は最後の力を振り絞り、美しい花を恋人の元へ投げ、こう言いました。

「私を忘れないで」

この哀れな若者の心を汲んで、植物学者の牧野富太郎博士は、ワスレナグサよりもワスレナグサのほうが適切ではないかといわれたそうです。

参考①



I Miss You



ゲーテ自身自身の恋に基づいて作られたとされる詩です

II 野薔薇

「素朴な愛らしさ」

少年がばらを見つけた
野原に咲くばらを
若々しく美しく
近くで見ようと駆け寄り
胸をはずませて見つめた
ばらよ、ばら、赤い可愛いばら
野原に咲くばら

少年は言った
「お前を折ってやる 野原に咲くばら！」
ばらは応えた
「あなたが刺すわ あなたが私の事を
永遠に忘れない様に
そして私は折られやしませんわ」
ばらよ、ばら、赤い可愛いばら
野原に咲くばら

ついに少年は
野原に咲くばらを折ってしまった
ばらは抵抗して刺し
嘆き、泣き喚いても少年には効かず
ただ痛みに耐えるばかりであった
ばらよ、ばら、赤い可愛いばら
野原に咲くばら

ゲーテ 土田悠平訳

参考②



&詩



III クロッカス

「切望、私を信じて、
愛の後悔」

ギリシアにヘルメスとクロッカスというお似合いのカップルがいました。

ある冬の日、二人は雪山に遊びに出かけ、あまりの楽しさに時を忘れていましたが気がつくと太陽は西に傾き、風が吹き荒れ始めていました。ヘルメスは急いでクロッカスをそりに乗せ自分も乗り込もうとした時、襲ってきた突風にクロッカスを乗せたそりが谷底へ吹き飛ばされてしまいました。狂ったようにあたりを探したヘルメスでしたが、二度とクロッカスに出会うことはできませんでした。そして翌春、クロッカスが姿を消したと思われる辺りに、愛らしい花が咲きだしました。人々はこの花にクロッカスの名を与えたそうです。

参考①と同じ





IV 鈴蘭

「幸福の再来、希望、
純愛、溢れ出る美しさ」

昔々、森の守護神といわれた青年レオニールがおりました。

ある日、レオニールは恐ろしい毒竜に襲われてしまいます。三日三晩戦い抜いた末、ついに毒竜を倒しました。しかし、傷を負ったレオニールは気を失ってしまいます。すると彼の血のついた場所から鈴蘭が生えて傷を癒しました。

この物語から、鈴蘭には「幸福」の意味があるとされ、多くの人に愛されています。

参考 「植物園で彩る美しい花言葉」
二宮孝朗監修 ナツメ社

V 向日葵

「貴方だけを見つめます、
恋慕」

あるところに水の精クリュティエがおりました。クリュティエは太陽の神アポロンと恋に落ちました。一度は心を通わせることができたものの、すぐにアポロンは心変わりをしてしまいました。

その新たな恋の相手に横恋慕し、アポロンに嫌われた後も、地上からアポロンの姿を見上げ続けたクリュティエの足は地面に根付きました。

やがてクリュティエは向日葵に姿を変え、それでもなお太陽を見続けたのです。

参考 同上



VI ミヤコワスレ

「別れ、しばしの憩い」

ミヤコワスレの名は順徳上皇の故事にちなむとされます。承久の乱で鎌倉幕府討幕に失敗し、佐渡島に流された順徳上皇は、二十年余をその地で過ごしました。ある秋の日、庭に咲いていた野菊を見て、「いままで都のみやびやかな暮らしを恋しがっていたが、この花はそれを忘れさせる」と仰せられたので、都忘れの名でよばれるようになったといわれます。

いかにして 契りおきけん 白菊を
都忘れと 名付くるも憂し

花を見て、歌を詠み、心の寂しさからしばし憩う、昔のひとの気持ちがちがいます。

参考 日本大百科全書(小学館)「ミヤコワスレ」
https://school.japanknowledge.com/2024/2/11/

高1
中2



「ナルシスト」の語源。
ギリシア神話を読んでみて。

VII 水仙

「自惚れ、自己愛」

あるところに美少年ナルキッソスがおりました。予言者はこの子に「自分の顔を絶対に見てはいけない」と告げました。やがて彼は、あまたの妖精に恋心を抱かせる美青年に成長しました。しかし、彼は、妖精からの求愛よりも、狩りの方が好きでした。ある日、喉の渇きをいやすために湖に近づき、水を飲もうとして体が硬直してしまいました。水の中にそれまで見たこともない美しい面差しの人がいたのです。自分が映ったものだと気づかない彼は、手を差し伸べるのですが、そのつど姿は消えてしまいます。逃げる面影を追い続けるうち、体は衰え、ついに彼は死んでしまいました。彼のたたずんでいた辺りに美しく咲いたのが、この花でした。

参考 ①と同じ

美術館×本

How to!

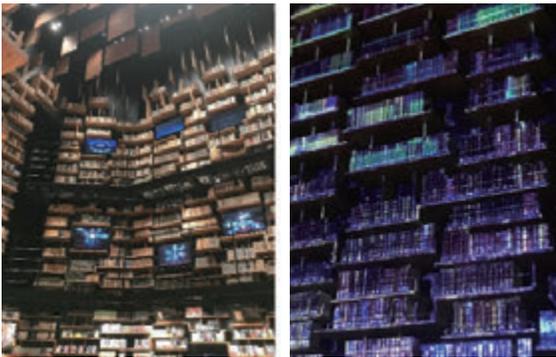
角川武蔵野ミュージアムの楽しみ



埼玉県東所沢市の道を歩いて約十分、歪な形をした建物の先が見えてきました。どンドン歩いていくとこのなんとも言い難い不思議な形をしたものが……。

そう、この変わった形をした建築物こそ、KADOKAWAが発信する「ラノベ・マンガ」の世界観を読者と共有し、人々をハッとさせる空間。約七・三万冊の書籍を所蔵している角川武蔵野ミュージアムです。

今回私たちはこの中にある「本棚劇場」を見た感想と「エディットタウン ブックストリート」で見つけた本について紹介します。



本棚劇場

本棚劇場は写真のように約八mの高さがあり、蔵書数は約三万冊で、三六〇度本に囲まれています。

別世界に行ったような体験ができるこの劇場では、二十分おきにプロジェクションマッピングを見ることが出来ます。内容は時期によって随時変わります。

<https://kadcul.com/>



今回の本棚劇場は、昨年七月に亡くなられた、作家の森村誠一さんの追悼展示として「証明三部作」と呼ばれるシリーズがドラマ化されたものでした。「誰かがお父さんを殺してくるよ」という印象的で続きが読みたくなるようなセリフの切り抜きや、本棚劇場特有の演出も相まって、本はもちろん作家自身にも興味をそそられる内容となっていました。

森村誠一さんは全く知らない作家でしたが、このプロジェクトションマッピングを見てとても興味がわきました。また、近代的な本から戦争に関する本、評論文、物語文と多種多様な本が紹介されていたので、いつもは手に取らないジャンルの本にも出会うことができました。

その名の通り、まるで「本の街」の中にいるかのような展示。道行



くところに文脈が
ちりばめられ、九
つのテーマごとに
分類されて本が並
んでいます。気に
入った本はその場
で読むこともでき
ます。本屋や図書
館とはまた違った
雰囲気を楽しめま
す。天井から吊り
下げられている展示や、古代エジ
プト特集などさまざな見どころ
がありました。特集が随時変わる
のも面白いところです。

ブックストリート

面白そう！ な表紙で本選び

ブックストリートでは、さまざま
な表紙の本が工夫をこらしたア
イデアで芸術的に飾られています
た。かなり個性的な本が多く、と
ても興味を惹きました。今回、
その中でも私たちが心をわしづか
みにされた表紙の本を紹介します。



『ホラー映画で殺されない方法』
セス・グレアム・スミス 竹書房

タイトルのインパクトが強かつ
たので思わず手に取ってしまいま
した。中には登場人物が何をして
殺されていったか(所謂フラグ)
や殺されないための条件、自分が
ホラー映画の中にいるか確かめる
方法まで書かれていました。殺さ
れたくない方はぜひ。



『優しい死神は君のための嘘をつく』
望月くらげ KADOKAWA

私はラブストリーが特に好き
です。展示されている本には類書
があったのですが、「死神」という
ワードがついている恋愛ものは珍
しいなと思い、思わず手に取って
みました。余命わずかな主人公と
それを伝えるに来た死神との切ない
恋。死神に対して怖いイメージし
か持っていないなかったけれど、読み
進めるうち案外違うことがわかっ
てきます。切ないラブストリー
を読んでみたいあなたへ。



『人間人形時代』
稲垣足穂 工作舎

黒い表紙にどーんと白い明朝体。
そしてなにより、ページにくりぬ
かれた中心の穴！ 穴は表紙から
裏表紙まで、本全体を貫通してい
ます。中のページも、文字が穴を
きれいに避けるように印刷されて
いました。ぱっと見た時の印象の
強さがこの上ありません。少し読
んでみると、どうやら宇宙に関す
るエッセイのよう。宇宙論入門の
学術書じゃないの……？ こんな
本、気になるにきまつてる！



取材・構成
中1

高2

植物×本

植物と本と音楽で

大先輩と文通しました



卒業生 佐藤美恵子さんと文通をしました

佐藤さんは調布高等学校二回生です。

昨年のNHK朝ドラ「らんまん」を見ていた私は、放送が始まる前に読んだある新聞の投稿記事が気になっていました。その記事を書かれた佐藤美恵子さんは卒業生である二井先生から聞き驚きました。そして、ZOOMで、佐藤さんから朝ドラの主人公のモデルとなった牧野富太郎さんと実際に会ったときのお話を聞きました。今もある「文化講演会」。なんと当時は、生徒が講演会の講師を選定

し、依頼のお手紙も直接出していたそうです。佐藤さんから、ご自身も大好きな植物のことや本のこと、有名な作家さんとお知り合いであることなどいろいろなことが聞けて楽しいひと時でした。ちょうど佐藤さんがお誕生日であると同ったので、誕生日カードも贈りました。とても喜んでくださり、お返事を頂いてそれから文通が始まりました。おすすめの本の紹介や佐藤さんの植物の思い出など、

牧野富太郎先生に学んだとき

無職 佐藤 美恵子
(東京都 91)

3年前だったか、高校の「同窓会だより」に植物学者・牧野富太郎先生のお話がどんなに楽しかったかという同期生の思い出が載っていて、うれしさに震えた。70年以上も前のこと。通った田園調布の私立女子校では生徒が講演を企画した。「植物班」だった私は、牧野先生に講演をお願いしたのだ。

植物採集や標本づくり、「牧野日本植物図鑑」との照らし合わせは当時の流行でもあった。自宅にも図鑑があり、大学生の兄たちと一緒に野原を意気揚々と歩いたものである。

丸筒でフリキ製の胴乱を肩から下げ、植物を摘みでは入れた。すでに80代後半だった博士は小学校を出ていないお話なども交え、講堂の生徒をひきつけた。講演後も私には不明な3種の草の名を教えてくださいました。宿題が残っていた。すると先生の前に、苦勞した相手がたちどころに正体を現すではないか。セラー服の私を包み込むようにして教えて頂いた優しさを忘れない。

戦後の苦しい生活の中でせいたくなひと時を味わった。牧野先生をモデルにするという4月からのNHK朝ドラでは、どんな主人公が植物と声を交わすのだろうか。

©朝日新聞社 無断複製転載を禁じます。すべての内容は日本の著作権法並びに国際条約により保護されています。

許諾を得て掲載しております。



(中3)

『モモ』の翻訳者

大島かおりさんは

本校の卒業生です！



佐藤美恵子さんの大親友だったのが、翻訳家の大島かおりさんでした。

このたび、佐藤さんより大島かおりさんとの思い出を語ったメッセージをいただきましたので紹介します。

学園の図書館報「読書の葉」152号を読んでいて、『モモ』の紹介部分に目が留まった。ミヒヤエル・エンデの翻訳者は、生徒さん方の

先輩になる大島かおり氏、旧姓は岡田かほりさん。

一九五〇年（昭和25年）、学園から私たち二人は東大を受け、共に落ち、彼女は東京女子大に進み、一校のみ受験の私は浪人に。私は後に慶応に進んだ。戦後わずかな時期で、各大学が女性にしぶしぶ門戸を開いた時代だった。

当時二人は、最寄り駅が池上線の雪谷大塚と洗足池という近さ

だったので行ったり来たりしてよく遊んだ。

かほりさんは、頭のいい人で、授業中は聴いているだけでノートをとらない。あだ名は「百科事典」。

勉強もできたが、編み物もうまく、土曜日に着ていたセーターをほどいて洗い、やかんの湯気の熨斗に当て、月曜日には、真新しく見える上着として身に着けて来るほど手早かった。何事によらず努力をまったく見せない人だった。卒業生総代。

歌も上手な方で、哀切な響きが胸に沁みる「中国地方の守歌」など聴いたことが忘れられない。

両家とも似た部分があり、父親は中央官庁勤め（私の方は内務省で、官庁の中の官庁といわれ、敗戦と同時にその存続は許されず瓦解。彼女のお父様の省庁は失念）、お互いの兄は東大の学生だった。

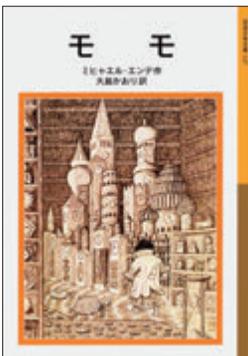
『モモ』は大ロングセラー、ベストセラーの有名本として、今も輝いている。NHKの「一〇〇分名著」は、短い時間で世界の名著といわれる本を紹介する番組であるが、早い時期に『モモ』は登場している。

彼女は、ほかにハンナ・アー

レント、アドリエンス・リッチ、ノーマ・フィールドなど多くの翻訳を残している。大学では英米文学科を専攻されているので、独、英の翻訳がある。

残念だが二〇一八年にご他界された。もう少し早い時期に学園の講堂でお話が聴けたら、ドイツと日本の対比、勉強の取り組み方など、学生さん方はどんなに楽しまれただろうと思わずにはいられない。集英社から少女少女向けの本バーネットの『小公女』なども訳されている。★
ご夫君は大島通義氏、慶応義塾大学名誉教授。

★少年少女世界名作の森（6巻）『小公女』集英社（現在は絶版）



『モモ』

（岩波少年文庫）岩波書店

ミヒヤエル・エンデ、大島かおり（翻訳）



大島かおりさんと(S23年10月)

佐藤さんよりコメント

修学旅行には、必ず写真屋さんが同道していました。昭和23年秋、修善寺へ行ったとき。沼津千本濱の松林で。前列3人。左端が佐藤。一人おいてセーターを着ているのが大島（岡田）。まだ統一した制服が着られるほどには時代が回復していない頃でした。

写真部 × memory

「film」をご覧頂き、ありがとうございました。撮影は全てフィルムカメラを使用しています。フィルムは写った時の暖かさと写す時の自在さが特徴です。コスパやタイパは悪いですが、アナログで、全てを自分で合わせなければならないからこそその「写真を創っている」という感覚に何とも形容し難い心地良さがあります。そしてフィルムはデジタルカメラやスマホのように何枚も写真を撮れません。だから、シャッターチャンスを吟味します。当然、1枚1枚に時間をかけるので想いが深まります。フィルムには沢山の魅力がつまっています。

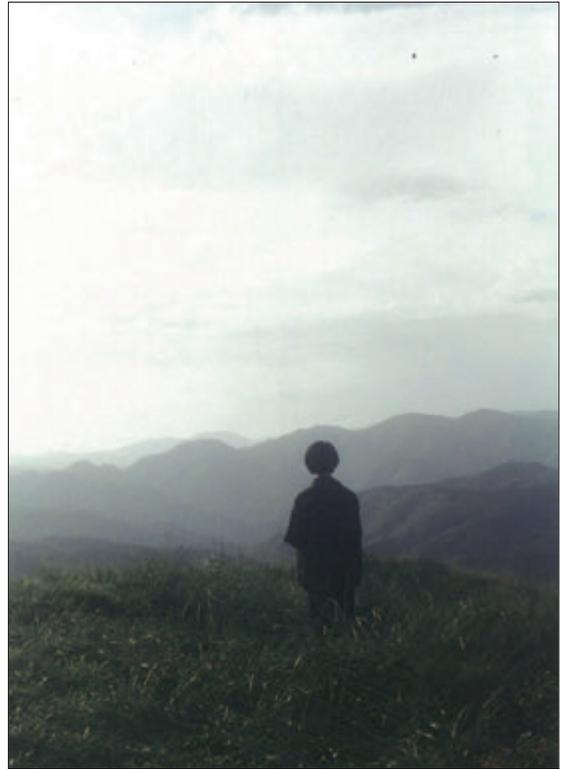
ひとめ見たら忘れられないような写真が1枚でもあれば、嬉しいです。

また、この度は図書委員会の編む「読書の葉」と写真部のコラボという機会を頂き、滅多にないことに感謝で一杯です。

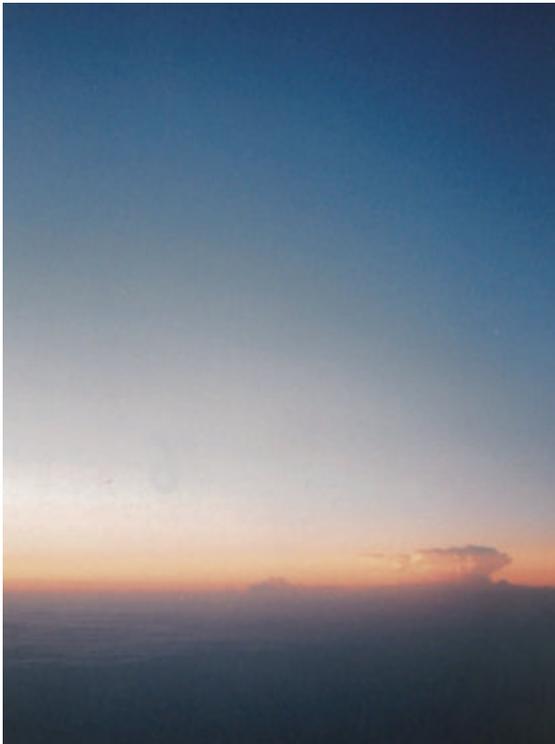
(高2)



「calm」 熊本県 バスの車窓から

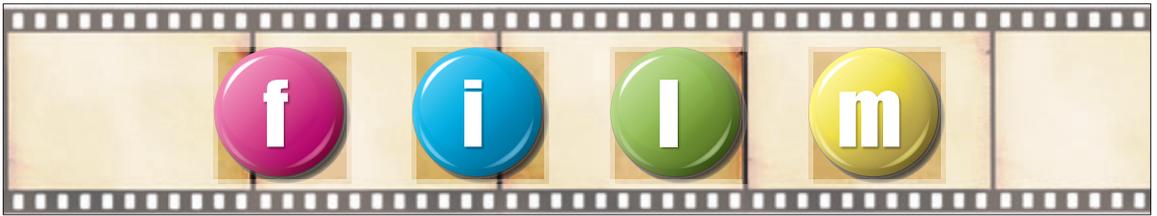


「臨む」 静岡県 大室山



「マジックアワー」 那覇→羽田の飛行機から

◆使用カメラ：minolta srt101 ◆使用フィルム：fujifilm100 kodak200 VIVE PHOTO Color 400



「帰り道」 東京都 二子玉川駅



「夏を跳ぶ」 沖縄県 美ら海水族館



「幸せを6つ」 長崎県 グラバー園

千と千尋の神隠し

映画『千と千尋の神隠し』を先日久しぶりに見ました。するとワンシーンごとの様々な描写に目が留まり、改めて独特の世界観に惹かれました。そこで浮かんだ疑問について考えてみます。

まずは千と千尋の舞台の一部モデルになった江戸東京たてもの園をご紹介します

物語×聖地

聖地巡礼

1 鍵屋



両親が豚に変えられた

あのお店

現代の台東区にあった居酒屋。1856年に酒問屋として創業し、1949年からは居酒屋として営業。千と千尋の舞台としての面影を残しつつも、古い商店の歴史を感じるスポットでした。

2 武井三省堂

釜爺のいるあの部屋

明治初期からあった文具店。壁の引き出しに書道道具の在庫が入っていたそう。文具屋をボイラー室に変身させてしまうのはとても驚きでした。



3 子宝湯

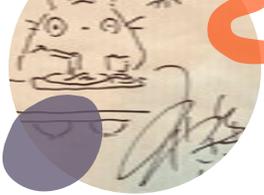
「油屋」の風呂場のモデル

東京の銭湯を代表する建物。神社を思わせるような構造でした。油屋については子宝湯以外にも様々な銭湯をモデルにしてつくられたそうです。風呂の壁画や間取りなど雰囲気すべてに映画の面影が隠れています。



4 たべもの処『蔵』

宮崎駿監督のサイン



武蔵野うどんを楽しむことができるたべもの処「蔵」。店内には宮崎駿監督のサインも飾られています。

ハクの正体は、



何だと思えますか？

1902年に赤坂に建てられました。高価なガラス障子を使用されています。

6 高橋是清邸

ハクが怪我をして千の元に飛び込むシーン

新橋駅を終点として走っていましたが1963年に廃止されました。ところで、この電車のシーン、なぜ周りの乗客は黒い影でえがかれているのでしょうか？

銭婆の元へ導く電車



5 都電

形0057

一体どこにあるのか

千と千尋の神隠し 映画をひもとく

今回は、千尋が銭婆に会いに行くために乗車する海原電鉄について考えます。

海原電鉄の走る世界、それは「死」への世界、もしくは社会のあり方？



○顔貌のない乗客
海原電鉄の、影で描かれた乗客は「無個性」です。人生において光とは希望です。しかし影は光を遮る、人生の暗黒面を意味しています。つまり影のみで表現された乗客達は、希望を失った状態と言えるでしょう。

○電車のレール
電車のレールは「社会」を表しているのではないのでしょうか。電車に乗っている時、乗客は常に受け身です。降りるという選択をしなければそのまま押し流されるまま。それは現代の社会の構図に似ていると思います。

○電車はどこへ

電車はどこへ向かうのか。海原電鉄には、行きの電車は出ても帰りの電車は存在しません。それは一度行ったら帰れなくなる場所「死後の世界」を暗示しているのではないのでしょうか。インターネット上では、海原電鉄が渡っていく海も、三途の川ではないかとする意見も見受けられました。

○なぜみんな降りたのか？

多くの乗客が沼原駅で下車していきました。「周りの流れに流されても、社会の構図から逸脱することはできない」。この場面にはそんな意味があるようにも思いました。しかし、希望を持っていけばであり、希望を持っていない乗客達は、海に囲まれた沼原駅を降りた後、どうなってしまったのでしょうか。

○乗車の時、必要なものは

私の考えた結論は、社会に流されるままの私達はやがて希望を失ってしまふ。それはつまり「死」に向かうことだ。という警告がこの場面にあることです。千尋は電車の中でも、存在がはっきりと描かれており他の乗客とは対照的です。それは千尋には、銭婆に会い、許しを請うという目的、ハクを助けるという希望があるからでしょう。社会という電車に乗っても、目的や希望を持って、下車という選択をする必要があるということ。この物語の真髄はそこにあると思います。

皆さんは

どう思いますか？

(高1)



下鴨神社

本作の第二章にて登場する下鴨納涼古本まつりの舞台。「李白」や「古本市の神」が繰り広げる展開が印象的なシーンだ。

夜は短し歩けよ乙女

森見登美彦の数多くの作品の舞台である京都をテーマに『夜は短し歩けよ乙女』の聖地巡礼をした。

あらすじ

乙女が京都の夜を闊歩する。地味で冴えない「先輩」は、なんとか乙女の目に留まろうと奮闘し、乙女の後を追いかける。偽電気ブランを追い求め春の酒宴の席を、幼少の頃の思い出の絵本を求め夏の古本市を、突風のように現れるゲリラ演劇団を求め秋の文化祭を、風の神様が猛威を振るう冬の商店街を……。

行く先々で出会う魑魅魍魎どもがなんとも魅力的でおもしろい。歯切れの良いポップで愉快な文体で描かれる青春妄想劇。果たして「先輩」の恋の行方は如何に。

～ 聖地巡礼 ～

進々堂

モダンな雰囲気があるこのカフェは、最終章で、乙女と先輩がコーヒーを飲む約束をした場所。



あとがき

自身がとても影響を受けた作品だったために、非常に期待を膨らませていた。実際訪れてみると、まるで黒髪の乙女と先輩が実際に巡っていたかのような京都の風景と、モダンな情緒あふれる街並み。いつまでも森見作品の世界の中にいられるような気がした。小説の聖地巡礼の魅力は、作者の想像した「楽しさ」を意図して辿って体感できることだと思う。これを機に、他の作品の"聖地"にも目を向けてみたい。

(高2)



先斗町

この物語を語る上で外せない先斗町。友人の結婚式をあとにした乙女と、気になって後を追う先輩の物語は、ここから始まる。

Palette

#とある写真部員のお気に入りショット紹介
#OLYMPUS PEN



強く美しい孔雀

#写真部合宿2023in伊豆
#伊豆シャボテン動物公園

野放しにされていたこの子の仲間を
後輩と私が追いかけていたら、
逆に威嚇されました(泣)

孔雀の強さと、毛の鮮やかさが
引き立つよう遠近法を極めて撮りました。

図書館の
お気に入りショット☆



わたし×物語

究極のシュークリーム

#写真部合宿2023in伊豆
#川奈ホテル(まさかの推しの聖地)

このシュークリーム

とても美味しそうに見えませんか?(笑)
実際に美味しかったのでそれが伝わるように
鮮度と明るさを細かく調整して撮影しました。
私史上最高のスイーツ写真です。



渋谷は映える

#2023年11月某日
#渋谷駅前歩道橋

11月の寒空に、淡く照明が点いている
渋谷のビルが映えていて、
ついパシャリとしてしまいました。
iphoneで撮ったのですが、テーマを“冷たい”に
して、写真全体の鮮度を抑えめにすることで
淡い光を際立たせました。



おわりに

ここでは3枚の写真を紹介しましたが、この3枚だけが特別というわけではありません。
写真部に入って5年になりますが、入部当初の写真も今の写真も、どれも私の宝物です。
どんな写真にも、残したい景色と共に、その時の気持ちも収められていて、同じ写真は1枚もないと
私は思っています。また、写真を撮る手段はスマホ、デジカメ、一眼レフ、フィルムなど
どれであっても、自分の想いがこめられています。

題名の“Palette”について——「パレットとは絵の具を溶いたり調合したりする板のこと。写真部員全員の写真が
集まれば完成する」という背景があります。2023年のなでしこ祭の写真部のテーマでもありました。

ぜひ、第二校舎の1階での展示や来年のなでしこ祭の写真部のブースものぞいてみてください。(高2)

宇宙×本



私は星が好きです。
 そしてもちろん読書も。
 そこで、星と物語をつなぐ本をひ
 とつ紹介します。



『宙わたる教室』

伊与原新著・文藝春秋

「火星の夕焼けは、青いんですよ」
 『宙わたる教室』は、様々な事情
 を抱えた生徒たちが、教師の藤竹
 を通して定時制高校の教室に「火
 星」を作り出す物語です。性格や
 経験、置かれている状況、何もか

もがバラバラな部員たちが、科学部の活動を通して協力し、たまに反発しながらも一つの目標に向かっている姿が魅力的です。私は読後、前を向く力をもらえました。

この作品の魅力は、宇宙に関する話やその実験だと思います。舞台が定時制高校だからこそ、年齢にもばらつきがあり、これまでの経験を元にして実験を進めていきます。それによって、各々の生徒の得意なことや大切にしていることが特に引き立てられていると感じました。

もちろん実験内容も面白く、作中に出てくる実験では、味噌汁を使った対流の実験や、お酢を使った噴火の実験、べっこう飴を用いた地震の実験など、日用品を使ったものが多く登場します。そのため、とても身近に感じられて一気に物語に引きこまれます。

部員一人一人の背景に具体的なストーリーがあり共感できるところも多いため、最初は科学や宇宙に興味になかった人でもきつと楽しめるでしょう。

私は、理科が好きなので、作品にでてきた実験を実際にやってみ

たいなあと思いつながら、読んでいてワクワクしました。また、この物語に出てくる生徒たちは、事情は違えども、「学びたい」と希望して学校に通っています。生徒一人一人の背景を知ると、いかに今の自分が教育環境に恵まれているかということ、それが決して当たり前ではないという事実に思い当たりました。そして好きなことを追える自分の時間を大切にしたいと心から思いました。

プラネタリウムを作家とともに！

二〇二三年十一月八日には、実際にプラネタリウムで作者の伊与原さんが解説をしてくださるという特別なイベントがありました。これは文藝春秋社が主催して、コスモプラネタリウム渋谷でおこなったものです。

私は友人といっしょに行き話を聞きながら夜空を堪能しました。

その日は、オリジナルプログラムにより火星の青い夕焼けやオボチュニテイの轍などを見ることが出来たうえ、伊与原さんからたくさんお話が聞きました。大学で宇

宙の研究をしていた伊与原さんが小説を書くようになった経緯や、小説で科学にまつわることを書くようになったきっかけ、その時の気持ちなどを語られました。私は、「今選んだ選択が全てではない」という言葉が一番印象に残りました。伊与原さんが、小説と科学を結びつけた作品を書かれているように、一見関わりのないようなことであっても将来決して無駄になることはないと思うことができました。それは、そろそろ進路のことや将来のことを決めなくてはならない私にとって、とても心に響く話でした。

また、大学で研究した専門内容があるからこそ、今の仕事に生かしている人と直接会うことができ、経験は貴重でした。人と会う、対話する、話を聞く、そして自分で考える、という時間がもてたことは、とてもありがたいと感じました。これからもいろんな外部でのイベントがあれば積極的に行ってみたいと思っています。

(中3)



これまで「読書の葉」は左下の
ような題字でした。本校の図書館
報は、昭和二十八(一九五三)年
からはじまり今年はいまは七十一
七十一回目の誕生日です。(すべて
保存しています。見たい人は司書
室まで！)

左下の青い題字は、初代の司書
松村千恵子さんが筆で書かれたそ
うです。昭和三十九年(一九六四)
年の第十七号からこの題字が使わ
れていました。松村さんには、私
も何度もお会いしたことがあります
です。お優しくして達筆な方です。
お手紙のやり取りを何度もしまし
ましたが、流れるような行書体は忘
れることができません。当たり前
ですが、七十年前の図書館は、す
べてアナログでした。当時は図書
システムも入っていないだったので、
手書きの蔵書目録(カード)でした。
書籍一冊ずつを記す蔵書目録も、
松村さんが万年筆で書かれていた
姿が目につきます。蔵書検索も
今はネットでできます。件名検索

も簡単にできますが、当時は常に
カードを一枚ずつめくって探して
いました。ネットで蔵書登録や検
索ができるようになったのも実は
この二十年ほどのことです。

そう、検索するときも、件名目録、
書名目録、著者名目録などそれぞ
れの種類別にカードがわかれてい
ました。利用者は、知りたい言葉
を目当てに、五十音順に箱に入れ
られたカードを一枚ずつ探し、本
が図書館のどこにあるのか、請求
記号をいちいち探していたのです。
(本当の話ですよ)

電算化がいかに効率よく蔵書検
索を生まれ変わらせたか、わかり
ますね。

それでも、本をめぐる人と箱は
昔からありました。本の周りにい
る人たち、も。今も昔も、図書委
員や図書館を愛し、使う人たちは
いましたし、これからもいます。

(二井)



「読書の葉」の題字は昭和三十九年以來ほぼ毎号
使っていました。この度、気分を一新しようと、
図書委員の高等部一年生がデザインを考えました。
だから今号は新しい表紙です。
古きよき題字も忘れないでください。
松村千恵子さんは二〇一八年にご逝去されまし
た。ご冥福をお祈りします。



編集後記

ここまで読んでくださり、本当
にありがとうございます。編集
部一同、本への愛をたっぷりこめて
記事を書きました。今回は「物
語×〇〇」といった、本と別の何か
が交わるテーマを取り入れたところ
が特徴です。本を大切に抱えなが
ら、新しい外の世界に飛びだして
いくことに、ワクワクしていただ
けたら幸いです。

今号は、今年度の図書委員会の
締めくくりの号となります。一年
間、ありがとうございます。図
書委員会の活動はこれからも続
きますから、ぜひご注目を！この
葉が皆さんの読書のひとつの道しる
べになればいいな、とても嬉しく思
います。



編集部

- 中1
- 中2
- 中3
- 高1
- 高2
- イラスト
- 中3